

ちいきの見守り冊子



見守りにつながる地域の取り組み

KONAN
SHAKYO



地域のつながり
community

見守りにつながるって？

connection

近年、少子高齢化の進行や経済状況の変化を受け、福祉課題の「複雑化・多様化」が進み、社会的孤立や孤独死等の社会的な問題が生まれています。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、平時から地域の人々と関わりを持ち、お互いにつながり、支え合うことが求められています。

そのような中、市内各地で地域のつながりを意識した取り組みが行われています。

本冊子は、地域の活動の「つながり」や「見守りの機能」に着目し紹介することで、地域での住民同士の活動に一人でも多くの方に関心を持ってもらうことを目的に作成します。

住民で協力して農業！？ 安良ふれあい農園から生まれるつながり

content

安良区では、住民やふくしの専門職などで構成される安良区連絡協議会があり、「5年後も、10年後も住みやすい安良を目指して」をテーマに地域の困りごと等に対して取り組んでいます。

農業からはじまるつながり

安良区協議会にて「近くの畑を使って畑をやりたい人と一緒に農作業体験はできないか」、「野菜や果物の収穫祭で住民が集まる機会にならないか」などの声をきっかけに、近くの畑（200坪）を活用して地域の方が集える「安良ふれあい農園」を住民と準備。

野菜は参加者の話し合いで子どもが好きな野菜や果物として、トウモロコシ、すいか、さつまいもを選択し、畝づくりや植え付け、収穫祭と農作業の工程自体をイベントに置き換え、地域でのつながりづくりに向けて取り組みました。



▲安良区連絡協議会内で「頑張ろうポーズ」



▲さつまいもの苗植え、みんなで実施！

子どもから高齢者、畑を通じて関わる

畝づくりでは鍬の使い方を90代のスタッフが子どもに教えたり、野菜の収穫方法を農家から学んだり、これまで関わりのなかった世代が、ふれあい農園という、共通の活動をするることにより、会話や関わりが生まれていました。



▲活動日に続々と見える参加者



活動の過程で生まれるつながり！？

安良ふれあい農園を進めるにあたり、①畑の管理、②チラシ作成、③地域回覧や参加者や協力者への呼びかけなどを進める中、スタッフから、「安良区の地域のつながりをつくるためにイベントや収穫祭をしてきた。それぞれの当日も大切だけど、それに至るまでの過程の人との関わりや時間こそが地域のつながりが生まれるときだと感じたな」との声がありました。

社協職員が発見！

見守り機能の
キラッとポイント

スタッフの振り返りの声から。

「あいさつが増えたまちになった」



安良ふれあい農園で畑作業をしていると「今日も暑いね。収穫はいつ？」、「次は何を植えるの？楽しみにしているね」、「最近、〇〇さん元気？」などの会話が生まれていました。

地域のつながりづくりを目的にはじめた活動が、その生まれたつながりによって、住民同士、顔が見える関係性となり、見守りの機能にもつながっています。

宮後中

miyaushironaka

買い物支援だけじゃない！？ 買い物から生まれるつながり

content

宮後中区では、区民の方を対象に区民の方が運転、付き添いをする福祉車両で、市内の大型スーパーに送迎する「宮中いきいきショッピング」を行っています。

買い物から生まれるつながり

宮後中区は近くにスーパーがなく、買い物に困りやすい地域という認識が住民の中に広く根付いていました。そんな中、地域包括支援センター主催の「地域ケア推進会議」にて、宮後中区の住民同士が話し合いを行ったことをきっかけに、「宮後中区は、買い物に困っている人が多いからなんとかせねば」との思いがそれぞれに広がり、「宮中買物支援事業協議会」が立ち上がりました。

話し合いを重ね、高齢者の引きこもり防止、孤立予防を目的に、毎月2回、社協の移送車両を活用し、市内の大型スーパーまで送迎する買い物支援「宮中いきいきショッピング」を行っています。



▲自分達で何ができるか、どのまでやるか話し合い



▲自宅の玄関から帰りの玄関まで送迎

買い物に行くことで生活にハリが

「宮中いきいきショッピング」の参加者から少し恥ずかしそうにこんな話がありました。

「実は、2日前くらいから買い物リストを作って、前日には、その日着る洋服を決めているのよ。買い物もそうだけど、みんなに会えるのが楽しみではない」と。



▲フードコートでおしゃべりする参加者



買い物後にフードコートで盛り上がる

スーパー内での送迎の集合場所は、フードコート。買い物が終わった参加者が徐々に集まってきます。ある時は、「その服いい色ね」と褒め合ったり、「息子に買ったものの半分くらい渡しちゃうの」と笑顔で話したり、またある時は、「匂いにつられて買っちゃったの」と焼き芋をみんなで分けて食べることも。

買い物だけではなく、参加者同士が会話する時間が生まれ、地域のつながりが生まれています。

社協職員が発見！

見守り機能の
キラッとポイント

スタッフの声から。

「横のつながりができた」



これまで仕事一筋で地域との関わりがあまりなかったスタッフのNさん。活動をお手伝いするようになって、参加者とのおしゃべりの中で、近所の人のことを知り、気になり始めることがあるそう。

ちょっとお手伝いをと始めた活動により、生まれたつながりによって、地域の情報・接点が増え、見守りの機能にもつながっています。